

No.27

あすなろだより

2006年9月1日

発行 三重県立^{こども}小児心療センター あすなろ学園 広報担当
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL. 059-234-8700 FAX. 059-234-9361
MAIL: asunaro@gaea.ocn.ne.jp URL: <http://www.asunaro.pref.mie.jp/>

キンカンの実

園長 西田 寿美

私の幼児期はいろいろな果物の木の思い出と結びついています。お菓子が家のどこかに必ずあるという時代ではなく、お腹がすいたら食事時まで我慢するしかありませんでした。しかし、私にはお腹がすいた思い出は無く、そういうときに自分で取って食べた果物のおいしさの思い出が今も残っています。

私の家は少し高台にあり、家の下が広い畑になっていました。祖母はその畑にいろいろな野菜を作っていました。朝早くに取り入れてリヤカーに乗せて市場に出荷していました。鶏小屋もあって、毎日卵を集めて、近所の人たちが買いに来ていました。そういった副収入が祖母の懐を潤していたようです。

庭には柿の木、イチジク、グミ、キンカン、イチゴ、サクラウメ、ユスラウメとたくさんの種類の果樹が植えてありました。遊び疲れてお腹がすくと、友達と一緒に取っては食べるのが楽しみでした。そういうことでしかられた思い出はありません。一番好きなのがイチジクで、次がイチゴ、グミ、4番目がキンカンでした。

そういう思い出があるからだと思いますが、スーパーにそういう果物が初物ででていると、つい買ってしまいます。しかし、いつも少し失望して、「こんな味ではなかったな」と思うのが常です。その中で一番失望しないのがキンカンです。

そういったわけで、6年前に狭い我が家の庭にキンカンの苗を植えました。10年前に植えたブルーベリーが何もしないのに、毎年たくさんのおいしい実を付けるようになっていたので、思いついたことでした。

しかし、3年目を迎えても一つの実もありませんでした。苗木はそれでも少し大きくなりました。アゲハチョウが季節には卵を産み付け、りっぱな幼虫に育ち、毎年若葉を食べ尽くしてしまいました。それが実を付けない理由かと4年目には農薬をまきました。それでも実はありませんでした。

我が家の庭は昔芝生でしたが、草取りをしなかったために、いつの時からか草原になってしまいました。それでも時々草刈りをし、団地のこともあり、庭で燃やすことが出来ず、いつも大きなゴミ袋に入れてゴミの日に出して過ごしていました。ある日、キンカンが実を付けないのは土地が痩せているからかも